科目名				学年
データベース論Ⅰ：Database Systems Ⅰ				4B
教員名	内田保雄：UCHIDA Yasuo			
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	90分×15回	必修	演習・前期	○

授業概要	
	データベースは、共通に利用できる情報を大量かつ体系的に保存したものである。最近の経営情報システムは、データベースを中心として構築することが通例になっている。データベースの理論と応用を講義するとともに、サンプルデータベースをもとにデータベースソフトを用いて、データベースシステムの作成と活用の演習を行なう。

到達目標	評価方法
(1)データベースの概念を説明できる。 (2)基本的なSQL文を記述できる。 (3)簡単なデータベースを作成し利用することができる。	①中間試験(50%)、②期末試験(50%)で評価する。

学習・教育目標	(D)①	JABEE基準1（2）	(d)-(3)

授業計画

回	項目	内容
第1	データベースの目的と意義	データベースの目的と意義について説明する。
第2	データベースの基礎(1)	表計算ソフトとデータベースの違い、データベースの表現とデータモデル、データベースシステムのアーキテクチャ
第3	データベースの基礎(2)	データベース管理システムの機能、データベース言語によるデータ操作、データベース設計の概要
第4	SQL(1)	SQLの基礎知識
第5	SQL(2)	データベースと表の操作
第6	SQL(3)	データの入力、変更、削除
第7	SQL(4)	データの検索
第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。
第9	SQL(5)	表の結合
第10	SQL(6)	問合せ結果の集合
第11	SQL(7)	副問合せ
第12	SQL(8)	ビューを使う
第13	SQL(9)	トランザクション管理
第14	SQL(10)	日付と時刻の処理
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また、授業評価アンケートを行う。

自学自習の内容	宿題を課す。
関連科目	情報システム論
教科書	明快入門SQL（林 晴比古・ソフトバンククリエイティブ）
参考書	IT Text データベース（速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明共著・オーム社）
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。
副担当教員	
備考	Webで補足資料を提示する。